

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 1 月 31 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	文学部文学科フランス文学専攻
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 1 月 18 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア州立大学フラトン校(日本語名) California State University Fullerton (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2024 年 8 月~2024 年 12 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬~7 月下旬 2 学期: 9 月中旬~2 月上旬	1 学期: 8 月中旬~12 月中旬 2 学期: 1 月下旬~5 月下旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	42000 人
創立年	1957 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (\$) (1 現地通貨 = 約 150 円)	B 日本円	備考
授業料	5622	円	1ドル約 152 円の計算 854,544 円
宿舍費	9963	円	1ドル約 152 円の計算(ミールプラン込み 2196ドル)1,514,376 円
食費	270	円	
図書費	0	0 円	
学用品費	224	円	教科書 33,000 円
携帯・インターネット費		円	私は楽天だったので、simを買う必要な かったです。楽天の人は海外でも携帯使え ると思います。
現地交通費	0	0 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	285	25,859 円	移動手段に使った Uber や Lyft
被服費	139	21,528 円	
医療費	0	0 円	
保険費	820(CSUF)	37,090(明治)円	形態: 明治と CSUF の保険
渡航旅費	1,287	円	202,168 円
ビザ申請費		33,000 円	ビザ申請費、郵送含む
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	18,610 (=2,791,500 円)	117,477 円	
総計(A+B) ※円		2,908,977 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田 目的地：ロサンゼルス 経由地：

復路 出発地：ロサンゼルス 目的地：羽田 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：DELTA 料金：101,750 円

復路 航空会社：DELTA 料金：100,418 円 ∴合計：202,168 円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：Delta Air Lines)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 8 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

CSUF から直接メールで案内が来るのでその指示通りに手続きをしました。

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮自体とても新しく、過ごしやすかったです。必要なものとしては、トイレトーパーや食器などがないため自分で調達する必要があります。CSUF の Housing に関するページで必要なもの等が載ったものがありましたので そちらを参考にすると良いと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

盗難にあったことはなかったです。ですが少し席を外す際でも常に貴重品は身につけるようにしていました。キャンパス内にいるときは警察が警備しているので、危険人物がキャンパスで目撃された場合、すぐにメールでお知らせが来ます。行方不明者や誘拐がこのあたりで発生した場合も携帯に直接情報がきました。あたりは比較的安全だと思うのですが、キャンパス内でも気をつけておいたほうがいいです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内・寮も Wi-Fi の接続は良く、快適でした。一二度、寮の電気節約時間があって、電気と Wi-Fi の接続ができない時間がありましたが、夜中から朝方にかけての間だけだったので その後も問題なく利用できましたので、心配ないと思います。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地での銀行口座は開設していません。資金は足りなくなったら、私の日本の銀行口座に親の口座から直接送金してもらいました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

何かあった時の薬や普段飲んでいる常備薬は持っていくべきです。現地の薬は成分が強かったり、見ても良くわからないと思うので、渡航前に用意できる薬は買っておくのがいいです。食事面で、私はお米を少し持って行きましたが、現地でも買えるので、持って行かなくても問題ないかと思います。

あと私が持って行ったのは、ボトル型浄水器の BRITA です。寮の水はそのままでも問題なかったのですが、一応 BRITA に入れて飲んでました。水筒代わりになるので持って行くと安心だと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に Flywire という会社を使って支払いました。本当は自分のクレジットカードで支払おうとしたのですが、一度に引き落としする限度額に引っかって、引き落としができませんでした。ですので Flywire を使えば、銀行に行き、専用の A T M で操作してもらい、多額な引き落としでもまとめて支払いができます。またクレジットカードで支払うよりも手数料がかからないと思います。Flywire 自体が海外留学の授業料支払いのために作られたものだったと思います。授業料支払いに関しては、あらかじめどのように支払うかを考えて、どの口座を使うのか、どのように支払うかを考えておいた方がいいです。私は支払いに手間取ってギリギリになってしまったので、支払い方法は確認しておくと思いいます。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
AMST101 Questioning America	アメリカ研究
科目設置学部・研究科	社会学科
履修期間	2024 年秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 in person(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Carolyn C. Thomas
授業内容	テキストやグループ発表を通してアメリカの大学における文化を学ぶ。アメリカの教育の歴史、他の国の大学とアメリカの教育はどのように違い、良い点や改善すべき点はあるのか、そこにある文化面を学ぶ。あくまでも社会学的視点から学ぶので、アメリカの歴史の授業ではない。
試験・課題等	お題に対する論術が 2 回(教室で時間制限あり)、作文 2 回(word で提出)、グループ発表 2 回
感想を自由記入	アメリカの教育を通して文化を学び、CSUF の特色にフォーカスして将来の視野を広げてくれる授業だと感じた。私は歴史系の授業だと思って取ったのですが、内容はどちらかというと社会科学系の分野に入ります。歴史面からだけではない、教育面からアメリカの文化的価値に触れ、なかなか興味深い授業だと思います。また、先生がとても優しいひとでした。私のクラスでは留学生が一人だけだったので不安でしたが、論述テストの前は良い点を取れるようにメールでいつでも質問して、と言ってくださり、色々サポートしてくださいました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
FREN203 Intermediate French A		中級フランス語 A	
科目設置学部・研究科	人文科学		
履修期間	2024 年秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数授業 in person (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Ghada Mourad		
授業内容	フランス語の基本文法を再確認しながら中級フランス語の文章を読んでいく		
試験・課題等	毎週 2 回課題、PowerPoint プレゼン、ペアで発表 1 回、中間・期末テスト		
感想を自由記入	教科書のテキストを解説しながら基礎文法の再確認をする流れです。週 2 回の授業の前に今回読むテキストの予習と文法や自分の意見を考える課題が教科書に沿って課されますが、フランス語の基礎を学んでいればそこまで難しい課題でもありません。先生がとても優しい先生で、7 人くらいの少人数クラスだったので、友達もできやすく、暖かい雰囲気での授業でした。ペアでフランスに関する発表や PowerPoint で自分の作ったプレゼンを提出する課題もありましたが、評価もそこまで厳しくありません。フランス語の文法を再確認したい人で中級レベルの読解を練習したい人はおすすめだと思います。教科書は推奨していますが、買わなくても先生が pdf で用意してくれていました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
WGST100 Intro to Gender Studies		ジェンダー学入門	
科目設置学部・研究科	人文科学 女性学		
履修期間	2024 年秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 in person(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 165 分が 1 回		
担当教授	Rocio Prado		
授業内容	ジェンダー、セクシャリティ、フェミニズム、LGBTQ 等についての記事や動画を見てディスカッションしたり意見を述べる。ディスカッションメインの授業で先生が問いかけた質問や論点を自分でどう考えるか意見をまとめる。		
試験・課題等	授業に対するコメント 4 回、レポート 4 回、最終レポート 1 回		
感想を自由記入	ディスカッションメインの授業で、英語が堪能でない私は苦戦しました。先生は常に生徒一人一人の発言を求めてくるので、グループでディスカッションした内容でも、一人一人に役割が与えられて最終的にはほとんど全員がたとえ少しでも授業内で発言することになる回が多かったです。かなりプレッシャーも感じましたが、先生自体は厳しい先生ではなく、生徒の意見を尊重し授業します。先生にアンケートの依頼をお願いした時もすぐに返事をしてくれ、英語があまり話せない私でもなんとか乗り越えました。課題はそこまで重いものでもなく、評価も易しいです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
WGST105 Introduction to Queer Studies		クィア学入門	
科目設置学部・研究科	人文科学 女性学		
履修期間	2024 年秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 in person(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Mary T. Anderson		
授業内容	Queer の人々に関する理解を深める、LGBTQ コミュニティに関する読み物や映画を鑑賞、人種やセクシャリティにおいて弱い立場にある人、障害のある人がどのように生きやすい社会を形成していったのかを学び、今ある課題を考える。		
試験・課題等	Reading レポート 5 回、Film レポート 2 回、最終レポート 1 回		
感想を自由記入	性的マイノリティに関する映画やドキュメンタリーを基本的に観て、レポートを作成するか、課題のテキストを読んでその内容を絡めてレポートを書くかです。授業自体は先生の話の聞いたり、映像を見ることがほとんどで、少しだけグループディスカッションをするくらいです。先生は生徒一人一人に意見を求めたりはしませんが、すごく早口なので何を言っているのか聞き取ることが難しかったです。授業の内容は時々難しいところもありましたが、課題はそこまで難しくありません。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	IELTS 対策
	10月～12月	IELTS 対策・受験(11月)
留学開始年	1月～3月	入学手続き
	4月～7月	寮申請(5月) 航空券購入(5月)ビザ取得(6月)
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	中間(10月)期末テスト(12月)
留学/帰国年	1月～3月	帰国・報告書等作成
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私はフランス語を主に勉強しているのですが、留学先国としてフランスを選ぶには、多少なりともフランス語が堪能でないといけないと感じ不安であったことと、まず英語力をさらに高めたいと考えたため、英語圏であるアメリカを選びました。英語圏は他にも様々な国があるかと思いますが、私の選んだカリフォルニア州立大学フラトン校では、特定の人種だけでなく、非常に多様な文化を持った人達が集まっており、馴染みやすいのではないかと考えたのと、そのような多様な価値観を知ることはとても良い体験になると思い、この大学を選びました。

留学をする前は授業に関する手続きや住居等の手続きが多くて大変かと思いますが、何事も早めに済ませた方がいいです。特に航空券やビザの申請は間違いがないように手続きを済ませる必要があるため、その後に必ず記入ミスや誤った情報は書いてないか確認するためにも早めに準備して時間に余裕を持たせることがいいかと思います。私の場合は授業料支払いの時にクレジットカードで支払おうとしたところ、一度に下ろせる限度額にひっかかってしまい、それも期限ギリギリだったので、支払いの際はかなり焦りました。授業料負担型という事もあり、アメリカの多額な授業料を払う際に困らないように親などとあらかじめ確認し、期日ギリギリにならないように手続きしておくことをお勧めします。

私が留学している際に思ったことは圧倒的に英語力の差です。私の寮にいる子や授業一緒になる周りの子たちは、たとえ留学生であっても当たり前のように英語を流暢に話します。私は今まで渡航経験も無かったし、英語が流暢に話せる訳でも無いので、日常会話程度でも英語をもっと渡航前に学習するべきだったと思います。アメリカの授業は意見を求められることが多いので、ディスカッションする際に簡単な自分の意見を英語でまとめる練習などしておくことでスムーズに会話に入っていけると思います。英語力が周りより劣っている自分でも、現地の子は理解しようとして真剣に話を聞いてくれますし、関わろうとしてくれる子が多かったので、積極的になっていっぱいお話しする事が良いかと思います。私の場合は、フランス語の授業を取ったのですが、取る人が少なく、7人くらいの少人数のクラスだったので、逆にこの小さいコミュニティで友達ことができました。また、英語(スペイン語も話す学生が多い)以外の語学系の授業は、現地の子でも第二言語として学ぶ学生が多いので、お互いに教え合う中で友達ができたりする可能性が高いので、語学系の授業やあえて少人数のクラスを取る事もお勧めです。

フラトンはロサンゼルスダウンタウンよりも少し離れて、大きい都市というわけではありませんが、周りは落ち着いていて比較的安いです。オンキャンパスの寮も新しくできたところで、綺麗ですしセキュリティ面もしっかりしていると思います。ミールプランもバイキング形式になっているので野菜等十分に取れると思います。また、近くにスーパーやキャンパス内にもコンビニ的なものもあるので、食にはあまり困ることは無いかと思います。現地で出会った先生方や友達はみんな優しく、困った時はメールでCSUFの留学生担当者などに問い合わせ、割とすぐに対応してくれたりするので、不安なときは周りに相談してみるのも良いです。実際に過ごしてみると日本好きな学生や店員など、至る所にいるので、特にアニメが好きな人は話も盛り上がると思います。

安全な地域だとしてもトラブルに巻き込まれないように気を引き締めて、積極的に友達と関わって、この貴重な体験に感謝して、留学を楽しんで来てください